**ＪＰ子どもの森づくり運動「全国集会＆研修会2020」アンケート集計報告**

**◆園庭緑化全般について、ご意見をお聞かせください。**

１）自分も今の園庭に魅力を感じてなかったのでビオトープにしたい等考えていたので、すごくいいタイミングでのテーマでした。緑化は、攻撃性を緩和する効果が多い、花壇、菜園、果樹園がセットで必要など新しい発見があり、深く知りたいと思いました。

２）藤森先生のお話で自然に触れることが保育をするうえでどのような役割があるかを理解することができました。大変勉強になりました。

３）各園が地域と連携してどのような活動を実施しているかに興味があります。

４）園の裏山を整備して自然環境保育を充実させていく。既設の園庭の中でも植樹植栽して緑化していく。

５）園庭環境に自然を取り入れていくことがいかに大切で必要であるかを改めて感じ、今自分にできること、園としてできることをさらに探り考えていきたいと思いました。

６）園庭が豊かになればよいなとは思っていてもなかなか手間などを考えると踏み出せないようなところがありました。ですが、園庭は保育室の一部であるという言葉や森のようちえん（ただ、自然で体をつかって遊ぶだけではない）の事をお聞きし、園庭緑化を含めて園庭環境を園全体で考えていかなければと思いました。

７）たいへん勉強になりました。初めての参加で今までこの活動についてぞんじあげませんでした。テーマ通り園庭緑化が一番こどもたちの五感を育てる身近なものだと思います。

８）大変興味のあるテーマであったので今回初めて参加させていただきました。園庭を緑化するきっかけにしたいです。

９）園庭緑化は、日々考えておりましたので、更に追求していきたいと思います。

１０）この２・３年で園で園庭について考えるプロジェクトがあり、緑化積極的に行っているため、大変興味深い内容でした。子どもたちの成長・発達に合った自然環境を大切にしていきたい。

１１）園庭の緑を意識した園庭づくり、保育の理念に沿った子ども達の園庭を作っていきたいと思います。

各先生方のご意見に共通するものを見つける事ができ、園に戻り共有していきたいと思います。

１２）今、園庭づくりをしたいと思い、研修に参加させていただきました。たくさんの講師の方の話を聞き、たくさんのヒントがありとてもよかったです。園庭づくりする目的を職員間でしっかり共通理解し、楽しんでやりたいと思った。

１３）子どもにとって本当に大切なものだということを痛感しました。実践例を参考にできることから進めていこうと思いました。

１４）テーマとしてはとてもよかったと思う。ただ、もっと突っ込んだ具体的な話もほしかった。紹介された緑化の事例をみるとやりたいことばかりでしたが、実際にやろうとすると、日々の保育との兼ね合いで着手できなかったり、始めても続かなかったり・・がある。その辺の事例や工夫を知りたかった。また、植栽の実務についても聞きたかった。（方法、日々の世話の内容、問題（枯れる、こどもの踏み付け、乳児・子どもが未熟な果実をとってしまうなど）への対処など）

１５）周りが自然に恵まれている環境に住んでいながらも中々外で遊ぶ機会がへっている。自然に興味、関心をもっと植物に対する愛着をもつことは子ども達のやさしさや思いやりを抱くことにつながりとっても大切である。遊具はいらず、自然の中にある物で遊びを考え、コミュニケーションをとりながらグループで遊んでいく事も大切なので、五感を大切に成長させていくためにも、これからはとっても大切であると思います。植物（花）等いきものにやさしい子に凶暴な子はいないです。

１６）当園（中目黒駅前保育園）には園庭がありませんが、ワゴン車があるので毎日、近隣の公園へ行き、自然に触れに行く活動をしています。色々な場所を日替わりで利用できるのはメリットだと感じております。今日の研修を通して、公園を選ぶ時の保育者のねらいがとても大切だと思いました。子どもにとって良い環境を職員同士で語り合い決めて行けたらと思いました。

１７）園庭は園のポリシーが反映されるもの。その中で子どもにとって必要な自然体験を取り入れる点で、緑化という考えは当然のことであります。様々な方法を考えていくべきと思います。

１８）子ども達にとって、自然がいかに大切なことなのかがわかりました。自分が勤めている園は、自然に恵まれているなと感じると共に、もっと自然に関わっていけるように環境を整えていけたらいいなと思いました。立地や地域など、それぞれの園に事情はあると思いますが、子ども達がたくさん自然と関われる未来があるといいなと思いました。自分の園にはたくさんの緑や自然に生き物がいたりするので、これから先もこのような環境を崩さないようにしていきたいです。

１９）保育環境にとって園庭は最も大切である。

緑化も精神的にも落ち着くためにも必要である。これからも全国の保育園・幼稚園・子ども園の方々と園庭について語る事ができる「子森ネット」の活動を今後も期待しています。

２０）それぞれの園の保育内容によって園庭を考えなければならない。どんな保育をしたいのか？職員全体の課題として取り組む必要を感じている。なるべく保育者や保護者が参加して手作りの園庭を目指したい。

２１）開園して８年が過ぎ、園庭の緑が育ってきています。今年度から運動会は近くの小学校を借りて実施しているので、さらに自然たっぷりにしたいと思い参加しました。

２２）園庭の緑化は必要だと思います。しかし園の先生のお声で木に虫がつく、葉が落ちる、芝がはげる、手入れが・・などネガティブな声の方が多く聞こえてくることが残念です。

２３）とても素敵な取り組みです。私の保育園は福岡市南区で住宅街の中にありますがとうとう近隣に園庭のない保育園が開園しました。園庭がなくても認可されるのであれば、園庭のある保育園はより一層に園庭での学びや育ちを考え緑化や植樹、生き物が集まるよう改造していくべきと思います。この動きを広め、公園の緑化なども進めばなお嬉しいです。

２４）こどもが育つ中で必要な環境としての自然を保育の中に取り入れるポイント,子どもの発達に合った自然体験を考えて行きたいと思う。安全ばかりに目がむいてしまい子どもが経験する機会をなくさないように考えていきたい。

２５）都会園での園庭づくり、小スペース

２６）子ども達が主体的に生きていく事のできる環境ということはとても大事なことで豊かな環境を整えるということではなく、そこにどんな豊かさがあるのかということを関わる大人達が気づいていくこと、工夫していく事がこの「園庭緑化」にむけて慎重に考えていかなければならない課題だと思う。このテーマはとても大事なテーマで１０年継続でぜひ続けていただきたい。

２７）園庭の所在地が田舎なので園庭を緑化する必要性があるのか？は微妙なようですが、自然体験は大切だと感じました。園近くの自然を利用すれば今すぐにでもできる取り組みなのでぜひ取り組みたいです。

２８）保育園として取り組んでいる最中のお話だったので勉強になりました。

２９）園庭の役割や現状がくわしくしれてよかったです。自分達がどうしていきたいのか、どんなところを目指しているのかなどの今後の役立てるようにしたいと思いました。

他園の方の自然とのふれあっている写真を偶然見せていただきとても勉強になりました。

３０）非常に良い方向に活動の輪が広がっていると思います。都会のせまい園庭でも園庭緑化の方向を見失わないでいきたいと一層感じました。春明保育園（東京都世田谷区）で、ビオトープを設置して３年目です。昨年ギヤンマが５～６匹ふ化し飛び立って行きました。虫や昆虫の好きな子どもは感動していました。

３１）子どもたちにとって自然がとても大切なものだということがわかりました。子ども達は外で遊ぶことが何よりも好きなので、今回の講演を聞いてもっと深く自然について考えて行きたいと思いました。

３２）園庭の重要性さを保育士に説明する資料として今回の講演を活用したいです。現在の園庭が運動場となっている理由が戦時中の考えから始まっているのが理解できた。

ゆりかご幼稚園の活動の初期から現状までの流れが学べてよかった。

３３）今年度、自園で園庭づくりプロジェクトを実施しました。１２月中にある程度の遊び場が完成し、今後は子ども達の様子や保育者の園庭を使う時のルール作りなどを考え話し合っていこうという時にこの研修があり参加させていただきました。子ども達が自然の中で楽しく主体的に遊びに夢中になるような園庭をどのように作っていくか、参考にさせていただきたいと思います。

**◆園庭緑化運動についてご意見をお聞かせください。**

１．JP子どもの森づくり「園庭緑化運動について」

興味がある　２８名　　　興味がない　１名　無回答　４名

２．興味ある方へ：事務局からのサポートの希望

　　　ブレーン（業者）の紹介　　　６名（　６園）

　　　助成金申請サポート　　　　１０名（１０園）

　　　そのほか

1. 情報提供
2. 他園との活動事例の共有
3. 興味がありますが園庭がありません
4. 深題が生じたらお知らせしますので教えてください。
5. どんぐり～ず、塚原さん来てください。
6. 来年度、園のとなりの雑木林を整備する予定です。その際参考となる書籍等ございましたら、ご教示下さい。
7. 職員の理解を求めながら、知識を高めるための園庭緑化するサポート

**◆JP子どもの森づくり運動を含む　幼児（少）期の自然・環境体験活動についての**

**ご意見をお聞かせください。**

１）石田先生の講義に合った通り、幼少期自然体験を思い出すことが大切だとありましたが、その通りだと思いました。

1. 自園（提携）母体に森づくりをする大学（富山国際大学）があります。ここで杉やドングリ、栗の植樹を保護者と共に行い、下草刈り等の整備お細々ながら進めているところです、子どもたちの幼児期の体験として今後も継続的に活動できるようにしていかなくては・・と改めて感じたところです。ありがとうございました。
2. 今、自分達ができること、やりたいことを考える機会となった。
3. 学会等との連携が増えると活動が深まると思う。
4. より身近で持続可能な環境体験プログラム等について、より研究して行って頂きたい。森づくりの田園実施もより知って行きたいと思います。
5. 私の仕事は幼稚園・保育園・子ども園の園舎と園庭の設計をしています。緑化については園庭づくりの一歩です。この運動の認知度をあげる様がんばりましょう。
6. 子どもにとって、（社会への）必要性のエビデンス、研究知見
7. 平素は大変おせわになりありがとうございます。自園のみの活動ではなく全国ネットワークであることでいろいろな情報交換できることを感謝しております。今後共どうぞよろしくお願いします。
8. 公共の講演もつまらなくなりました。安全ばかりで公園も増え、自然も増え、子育ての楽しい街づくりをしたいものです。
9. 幼児期に自然を体験することはとても大切なことだとおもうが近年では活動の機会がないと感じられない子も多いので必要な取り組みだと思いました。
10. 子ども達が日ごろみつける奇跡の瞬間はあると思います。

好奇心→探究心→思考力と自ら考えようとする気持ちが育つことは幼児期の様々な体験活動で得られるのだと思います。このことを全国の子どもと関わる方々に発信されている活動に感謝いたします。

１２）東北復興グリーンウェイブでどんぐりの苗木を送らせてもらった。九州の山の上に地元のどんぐりの苗木を植えた。

１３）園庭のない企業主導型保育園なので、園内の緑化に力を入れてみたいと考えています。

１４）幼児期から自然に触れることができる環境を都会の子どもたちにも提供することができるとよいと思っています。この運動に参加し、少しでも自然体験に参加できたらと考えています。

１５）我が子が自然の家にでかけ、そこでしかできない体験活動を定期的にしています。そんな活動が普段の保育でもできたら楽しいのになぁと思っています。保護者の方にいろいろなアピールをたくさんしていただき、自然とふれあう大切さを宣伝していただけたらうれしいです。

１６）これからも継続してより取り組みを実りあるものにしていきたいです。よろしくお願いします。

１７）開園の時に植えた３本のドングリのうち２本を送り、残った１本が昨年から実をつけて、子どものあそび道具になっています。とても貴重な体験をしました。　（＊注）

＊注）文中のドングリは、JP子どもの森づくり運動「東北復興グリーンウェイブ」の東北の“どんぐり”です。

子森ネットでは、活動を始めるにあたり、生物多様性の観点から「広葉樹の種の移動」について、筑波大学において樹木の遺伝的保全研究や適応進化について研究なさっておられ、環境省の「広葉樹の種苗の移動に関するガイドライン」作成チームの中心的メンバーである津村義彦先生のご指導で、ＪＰ子どもの森づくり運動オリジナルの「どんぐりの移動に関するガイドラインマップ」を作成し、活動の指針としております。⇒http://kodomono-mori.net/map-3

上記マップのとおり、岩手、宮城、福島の“どんぐり”は、東北の“どんぐり”として、

同じ遺伝子を持つ種苗であり、そのエリアでの種苗の移動は生物多様性的に適合しているということを踏まえて活動しております。

１８）なるべく人工的な環境でなく、自然に近い園庭にしたいと思います。園や行政に働きかけて地域としての活動が必要だと思いました。

１９）幼児期の時の体験はすべて大人になっても大きく影響していくと考えるととても重要です。自然に興味・関心の接する子どもたちを育てていきたいと思います。

２０）自然の中でなくても行える自然体験だと感じました。子どもも大人も一緒になって感じ、楽しむ保育を私も展開していきたいと思います。ノーズやってみます。

２１） ・野菜、果物、花のお世話や収穫

　　　 ・山、川、海、雪へ出かける

　　　 ・どんぐりと共に育つ

体験活動をしている。

　　　園児、職員、保育者、園長、関わる方、皆が楽しいのが基本です。

２２）大人も子どもも自然の中にいる時はとても心が落ち着きます。

２３）大変有意義のある活動だと思います。

２４）SDGｓを勉強して、次世代の子ども達が住みやすい環境を作っていきたいです。

２５）私の園でも苗木を育てていて、子どもたちもすごく楽しそうに行っています。このような活動、運動があることで子どもたちも、もっと自然に興味を持つと思います。

２６）（園庭環境が狭い福岡の園では）外遊びがない時の子ども達はストレスからよく泣くし、オモチャ等の取り合いもあったりして落ち着きがない。島原の園児達は広い園庭で自然の中で伸び伸び活発に動き回っている泣き叫ぶ子ももいない。

最近、両方の園児達をみていて、自然環境の中で虫や小鳥、実のなった樹木、香りのある花など今はわからないで遊んでいても大きく成長した時、あんな庭で友達と一緒に遊んだ光景は残っている。自主性を育てる意味でも自然環境の中で、自分で遊びを組みたてることができることは大事。

２７）どんぐりの苗木を育てていて、未満児～５歳児まで「この木はなあに？」と聞いてきたりします。保育者だけでなく、子ども同士でもこの会話が広がっていることもあり、保育園にある大きなどんぐりの木や秋になると実が落ちて転がっている小さなどんぐりの実の成長に触れ、関わる機会になっていること、とても良いと思います。また、ネイチャーゲームも年長児から始まり、秋頃、子ども達が興味を持って色々なものに触れていました。これからも続いていけるようにしたいです。

２８）大変重要なものであると今日改めて学ぶことができました。ありがとうございました。